

レジメン	パニツムマブ+FOLFOX6療法																			期間	14日間		
薬品名	標準投与量	投与時間	day																				
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
パニツムマブ注 /生食100mL	6mg/kg	60分																					
ジフェンヒドラミン錠	10mg 5錠	オキサリプラチン投与 30分前																					
パロノセトロン注 デキサメタゾン注		30分																					
オキサリプラチン注 /5%ブドウ糖液250mL	85mg/m ²	2時間																					
レボホリナート注 /5%ブドウ糖液250mL	200mg/m ²	2時間																					
5-Fu注 /生食50mL	400mg/m ²	全開																					
5-Fu注 /生食ポンプ	2400mg/m ²	46時間																					
詳細																							

次ページ有り

		1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	...	21	
自覚症状	食欲不振・吐き気																						
		食欲が低下することがあります。食べやすいものを食べて下さい。																					
	手足のしびれ(L-OHP)																						
		手足のしびれ、感覚が鈍るなどの症状が出ることがあります。冷たい物に触れないようにしましょう。																					
	口内炎																						
		口内炎がでやすくなったり、治りにくくなったりする可能性があります。歯磨き、うがいなどの口腔ケアを行ってください。																					
	色素沈着																						
		皮膚の黒ずみがおこる事があります、日焼けに注意してください。																					
便秘																							
	長く続く場合は、お知らせ下さい。水分をしっかり摂って下さい。																						
脱毛																							
	頭髪、眉毛、まつ毛などの脱毛がおこります、治療が終了した後は、また生えてきます。																						
ざ瘡様皮疹																							
	にきびのようなぶつぶつができたり、皮膚が乾燥することがあります。																						
検査値	白血球減少																						
		抵抗力がおちて、発熱したり、感染症にかかりやすくなる可能性があります。手洗い・うがいなど感染予防を行ってください。																					
	ヘモグロビン減少																						
		立ちくらみなどの、貧血症状が起こる可能性があります。転倒に気を付けてください。																					
	血小板減少																						
	出血しやすくなったり、青あざができやすくなったりする可能性があります。転倒に気を付けてください。																						
肝機能低下																							
	手のひらや白目の部分が黄色くなる(黄疸)、体がだるい、皮膚のかゆみなどがありましたらお知らせ下さい。																						
血清Mg低下																							
	けいれん、ふるえ、脈の乱れ、力が入りにくいなどの症状がありましたらお知らせ下さい。																						

次ページ有り

●観察が必要な、自覚症状を伴う副作用症状(CTCAE)			テレフォンフォロー時期の目安
食欲不振・吐き気	Grade1	摂食習慣に影響のない食欲低下	3～7日後 頃
	Grade2	顕著な体重減少、脱水または栄養失調を伴わない経口摂取量減少	
	Grade3	カロリーや水分の経口摂取が不十分	
	Grade4	-	
手足のしびれ(L-OHP)	Grade1	症状がない	3～5日後 頃
	Grade2	中等度の症状;身の回り以外の日常生活動作の制限	
	Grade3	高度の症状;身の回りの日常生活動作の制限	
	Grade4	生命を脅かす;緊急処置を要する	
口内炎	Grade1	症状がない,または軽度の症状;治療を要さない	14～28日後 頃
	Grade2	経口摂取に支障がない中等度の疼痛または潰瘍;食事の変更を要する	
	Grade3	高度の疼痛;経口摂取に支障がある	
	Grade4	生命を脅かす;緊急処置を要する	
便秘	Grade1	不定期または間欠的な症状;便軟化薬/緩下薬/食事の工夫/浣腸を不定期に使用	3～7日後 頃
	Grade2	緩下薬または浣腸の定期的使用を要する持続的症狀;身の回り以外の日常生活動作の制限	
	Grade3	排便を要する頑固な便秘;身の回りの日常生活動作の制限	
	Grade4	生命を脅かす;緊急処置を要する	
ざ瘡様皮疹	Grade1	体表面積の<10%を占める紅色丘疹または膿疱、そう痒や圧痛の有無は問わない。	7～14日後 頃
	Grade2	症状問わず体表面積10-30%の紅色丘疹or膿疱、心理的影響あり、軽作業を制限、体表面積>30%	
	Grade3	体表面積>30%の紅色丘疹or膿疱で中等度以上の症状を伴う;日常生活動作の制限;要経口抗生	
	Grade4	生命を脅かす;紅色丘疹or膿疱が体表面積・症状を問わず、要抗生薬静脈内投与、広範囲の二次	
肝機能障害	確認が必要な症状の詳細 →	手のひらや白目の部分が黄色くなる(黄疸)、体がだるい、皮膚のかゆみなどがありましたらお知らせ下さい。	5～7日後頃
血清Mg低下	確認が必要な症状の詳細 →	けいれん、ふるえ、脈の乱れ、力が入りにくいなどの症状がありましたらお知らせ下さい。	1サイクルに1回 程度

※がん薬物療法副作用管理マニュアル第2版,東京,医学書院,2021. がん化学療法ワークシート第5版,東京,じほう,2020. を参考に改変。